

研究開発運用部門長に、初代の新村正明准教授が再び着任され、新しい体制で新年度がスタートしました。今号では、新部門長からのご挨拶をお伝えします。

また、4月18日に開催した「新任教員向け eALPS 研修会」に続き、小テストに関する eALPS 研修会を開催します。裏面には、研修会や映像録画支援事業の募集についても掲載していますのでぜひご覧ください。

contents

e-Learning center Newsletter No.22

- 新 研究開発運用部門長あいさつ
- Tips for eALPS
- information

「授業および授業素材としての映像録画支援」第2次募集のお知らせ
「eALPS 研修会 明日から使える！小テスト①」開催のお知らせ

新 研究開発運用部門長あいさつ

Learning Analytics に向けて

2016年4月より研究開発運用部門長を仰せつかっております新村でございます。本籍は工学部の併任ですが、できるだけ利用者である学生・教職員の皆様方のお役に立てるよう努力する所存ですので、よろしくお願いいたします。

ソフトウェア開発手法に DevOps という用語があります。開発 (Development) と運用 (Operations) を組み合わせた造語で、開発と運用が連携する開発手法のことを示し、Facebook やクックパッドなどで採用されているそうです。もちろん eALPS は、このような大規模サービスではありませんが、研究開発運用部門の名前のとおり、学生・教職員にとって利便性の高いシステムになるよう、開発と運用を通して、より良いサービスを提供していくことを目指してまいります。



新村 正明 (にいむら まさあき)
研究開発運用部門長

【eALPS の構成】

現在、皆様に授業等でお使いいただいておりますシステムは、LMS (Learning Management System) と呼ばれるもので、Moodle というオープンソースソフトウェアを使用しております。

eALPS は、この Moodle のほか、認証、時間割表示、キャンパス情報システムなどとの連携など複数のシステムから構成されております (図1)。このうち認証には、電子ジャーナルに学外からアクセスするための仕組み「学認」と同じ Shibboleth というオープンソースソフトウェアを使用しております。また、時間割表示やキャンパス情報システムなどとの連携の部分 (ADB) は、独自に開発を行っております。

eALPS を構成する大半のシステムは、多くの大学で導

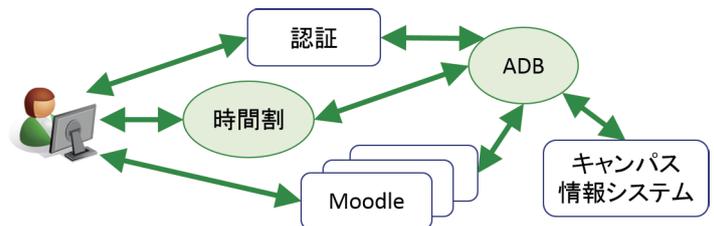


図1

入されているものであり、多く運用実績があります。これらの大学との情報交換から、より使いやすいシステムを目指して改善を行ってまいります。

【Moodle のバージョンアップ】

皆様に授業等でお使いいただいております Moodle ですが、来年度用からバージョンアップを予定しております。

現在、お使いいただいております Moodle のバージョンは 2.7 ですが、2016年5月に次期安定バージョンである 3.1 がリリースされました。そこで来年度から、この 3.1 を導入いたします。現在、検証を行っておりますが、内部処理は大幅な変更があるものの、みなさまから見たユーザインターフェースには大きな変更はないようです。

9月頃には、お試し用のサイトを公開する予定です。詳細はあらためてご連絡いたしますが、是非、新しい Moodle を早めにお試しください。

【Learning Analytics にむけて】

PLAN the N・E・X・T の「教育に関する目標」の達成手段に、アクティブ・ラーニングの推進と教学関連データの分析があります。e-Learning は、これらの実現手段として非常に有効なものです。特に e-Learning システムの利用状況から学生の学修状態を調査・分析する Learning Analytics が広く行われるようになってきております。そこで、eALPS の利便性の向上と安定的運用から、多くの科目で使用していただけるようにすると共に、履修状況などの学修支援に必要な情報収集・分析にも取り組んでまいります。

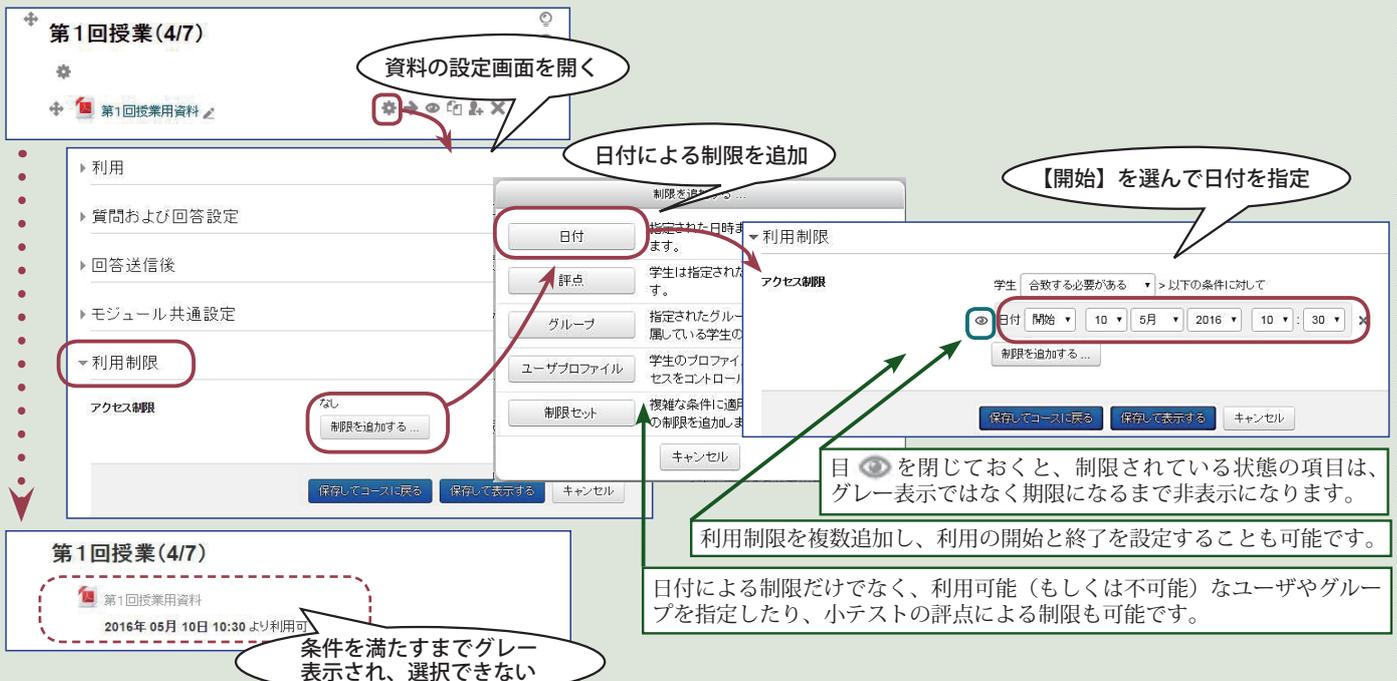
研究開発運用部門長
新村 正明

*** Tips for eALPS ***

このコーナーでは、知っているると便利な eALPS の機能やちょっとしたコツをご紹介します。

【利用制限】の機能を利用して、資料の閲覧に期限を設けることができます

「eALPS のコースにアップロードした資料を、授業が終了するまで学生に公開したくない」といったご要望をいただくことがあります。目のアイコン  をクリックして非表示にすることもできますが、【利用制限】の機能を使うと、指定の日時になったら自動的に公開したり、非表示にすることが可能です。



資料の設定画面を開く

日付による制限を追加

【開始】を選んで日付を指定

目  を閉じておくと、制限されている状態の項目は、グレー表示ではなく期限になるまで非表示になります。

利用制限を複数追加し、利用の開始と終了を設定することも可能です。

条件を満たすまでグレー表示され、選択できない

目  を閉じておくと、制限されている状態の項目は、グレー表示ではなく期限になるまで非表示になります。

利用制限を複数追加し、利用の開始と終了を設定することも可能です。

日付による制限だけでなく、利用可能（もしくは不可能）なユーザやグループを指定したり、小テストの評点による制限も可能です。

- ・資料だけでなく、フォーラムや小テストなどの項目にも同様に制限を設定できます。
- ・項目ではなく、トピック全体に設定することも可能です。



「授業および授業素材としての映像録画支援」第2次募集のお知らせ

e-Learning コンテンツ作成支援の一環として、授業・講演会・実習・演習等の録画や撮影した映像のコンテンツ化などの支援をしています。作業は学生（または外注業者）が行い、その経費を本支援費より支出します。

現在、後期の授業に向けた支援申請の募集中です。詳細は e-Learning センター ICT 活用支援部門 elcenter-rokuga@shinshu-u.ac.jp までお問い合わせください。

支援内容：映像録画、コンテンツ作成支援。コンテンツ作成の為の機材の貸出し。

応募締切：平成 28 年 8 月 23 日（火）

録画時期：平成 29 年 2 月 17 日（金）まで（コンテンツ化作業を考慮しまして）



外注業者による撮影風景

「eALPS 研修会 明日から使える！小テスト①」開催のお知らせ

日時：平成 28 年 6 月 30 日（木）3 限（13:00 - 14:30）

場所：教育学部附属次世代型学び研究開発センター 2F 201 室 * SUNS 配信はありません。

対象：eALPS で小テストやアンケート調査をしてみたい方

内容：eALPS の小テスト機能と利用事例を紹介します。

チュートリアル形式で、実際に活用していただくためのテスト問題を作成します。

持ち物：無線 LAN に接続可能な PC・業務用 ID とパスワード

授業で使用しているペーパーテストやアンケートがありましたらお持ちください。

申込：e-Learning センター (elearning@shinshu-u.ac.jp) へメールでご連絡ください。

* 同様のテーマで各地キャンパスを会場に開催することも予定しています。